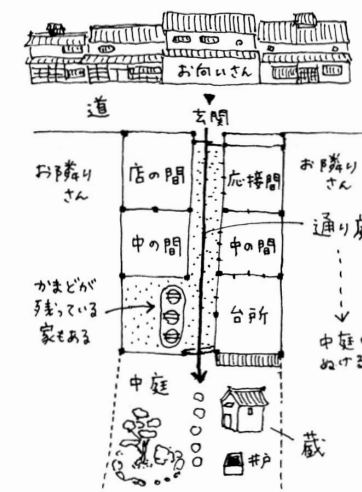


家の中に、道がありました。人や風や光が行き来する道でした。



家の奥へつづく土間「通り庭」。人と町を結ぶ暮らしのかたちです。

奈良県今井町。そして五條新町。町家づくりの古い家が、いま暮らしの舞台になっている町。玄関から奥の庭まで、長い土間がつづいている家が何軒か残っています。そこは「通り庭」と呼ばれる空間。家族が行き来します。隣人が訪れます。商店を兼ねるお宅なら、お客様が通り、商売の道具や荷物も通ります。まるで道がそのまま家の中につながっているようです。引き戸を開け放てば風が通り抜け、吹き抜けの天井にある明かり採りの窓からは光が射し込む、ここちよい空間。それは、人と町を結び、自然ともじょうずに調和する暮らしのかたちなのです。



その知恵と心、わたしたち大和ハウスグループのお手本です。

社会と共に生きること。自然と共に生きること。ひとびとと共に新しい暮らしのかたちや価値を創ること。そんな「共創共生」の精神をもつ大和ハウスグループにとって、『通り庭』と共にある暮らしはまさにお手本です。住宅事業をはじめ、商業建築、ホテル・リゾート、医療・介護など、幅広い事業で社会に貢献したい。大和ハウスグループ35000人の思いはひとつです。

共に創る。共に生きる。  
We Build Hearts

